

テーマ区分	現状把握・問題点	全体会議での主な意見
①人口減少問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯地区で石神台は高齢化に伴う人口構成の脆弱化は一層深刻。(極端なT字型)</li> <li>・石神台の人口減少は大磯町の他地区と比較し減少幅が大きい。10年間('10-'19)で246人(13%)減。(大磯町全体は4%減)(2019年大磯町HP)</li> <li>・移動人口にて、5年前の居住地と比べた転入比率が10%と他地区の比率に比べて低い。(高麗20%、国府本郷18%)(2015年国勢調査)</li> <li>・65歳以上のみの世帯が283世帯(40%)と突出して高い。約4割以上の世帯が空き家予備軍の可能性。(2015年国勢調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と連携して大磯町人口ビジョンに石神台戦略を加えるなど、町や県のビジョンと独自の展開を合わせて行うべき。</li> <li>・新たな強みを作り出し魅力を感じる街づくりを考えるべき。</li> <li>・若い住民の意見を聞き次世代に繋がる街作りを。</li> <li>・空き屋、空き地対策として、格安賃貸、コミュニティの場、学生や住宅取得前の若い家族対象、高齢者シェアハウスなどを考える。</li> <li>・町の空き家対策を活用する。</li> </ul>
②高齢化問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石神台は60歳以上が54%以上。(2015年国勢調査)</li> <li>・75歳以上が228人いる。(13%)(2015年国勢調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石神台は利便性が悪い。高める方策を考えるべき。</li> <li>・高齢者サポートとして、食事サービス、移動/外出支援、宅老所の設置、居場所/サロン設置、見守り場所を考える。</li> <li>・認知症をサポートする仕組みがあればよい。</li> <li>・生活用品が近場で調達できる生活しやすい環境づくりを。</li> </ul>
③子育て問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在住んでいる若い世代の子育て家族だけでなく、他から石神台をえらんで転入してくれる石神台づくりが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設があれば若い家族を呼び寄せないか。</li> <li>・現在未検討だが、例えば、両親が職場から戻るまで、幼児から低学年の就学児童の預かり環境を設けるなど。</li> </ul>
④住環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に調和した良好な住環境」が高度に維持。これは独自の「環境保全に関する指針」の存在が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の良好な住宅地を維持しつつ新しい街づくり。</li> <li>・新たな強みを作り出し魅力を感じる街作り。そのため「建築指針」の見直しを図る。</li> <li>・外部の人が住みたいと思える強みをもたせる。</li> </ul>
⑤自治会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に伴い、支え手不足、成り手不足が発生。</li> <li>・街区役員の負担が大きすぎる。</li> <li>・運営が複雑になりすぎた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限界集落に達する懸念を感じる。</li> <li>・運営を簡素化すべき。</li> <li>・街区役員の負担を軽くする。(外注化等)</li> <li>・楽しい企画を中心にやるべき。</li> <li>・街区役員は大変だったが、人を知る良い機会となり、得るものがあった。</li> <li>・何でも外注は考えもの。自分達でやる意義もある。</li> <li>・2011年の「みんなで考えよう自治会改革」(案)など、当時から問題が提起されていたテーマについて検討していくことも一案。</li> </ul>